

地震想定マップ






揺れやすさマップ

地域の地表の揺れやすさを震度として評価し、50mメッシュで表現したものです。地震時の避難所・避難場所の位置も示しています。

「揺れやすさマップ」は、関東平野北西縁断層帯による地震（マグニチュード 8.1、破壊開始点を北側に設定した場合）が発生した場合に、地域の地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から、地域の地表の揺れやすさを震度として評価し、50mメッシュで表現したものです。

震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

深谷市で予想される震度

震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
<ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 棚にある食器類や本が落ちることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなさと歩くことが難しい。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> はわないと動くことができない、飛ばされることもある。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山林の崩壊が発生することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが増える。 

地震時に避難所・避難場所に避難するときは

自宅に、倒壊や火災の危険がなければ、避難所・避難場所に避難する必要はありません。

以下のようなときは避難しましょう。

- ▶ 余震により、家が倒壊する危険があるとき。
- ▶ 周辺で火災が発生しているとき。
- ▶ 余震により、がけ崩れの危険があるとき。

避難所に避難の際には、開設状況を確認し、非常持ち出し品を持参しましょう。



非常持ち出し品の例は、[38ページ](#)

埼玉県が平成 25 年に行った地震被害想定調査では、国の中央防災会議や地震調査研究推進本部の最新の成果を参考にして、下図の5つの地震を想定地震としています。

この地震想定マップでは、このうち深谷市に大きな影響が生じるおそれがある「関東平野北西縁断層帯地震」（北側から破壊開始したケース）を想定地震としました。

これはあくまで想定です。これ以外の地震でも大きく揺れることがあります。

■想定地震

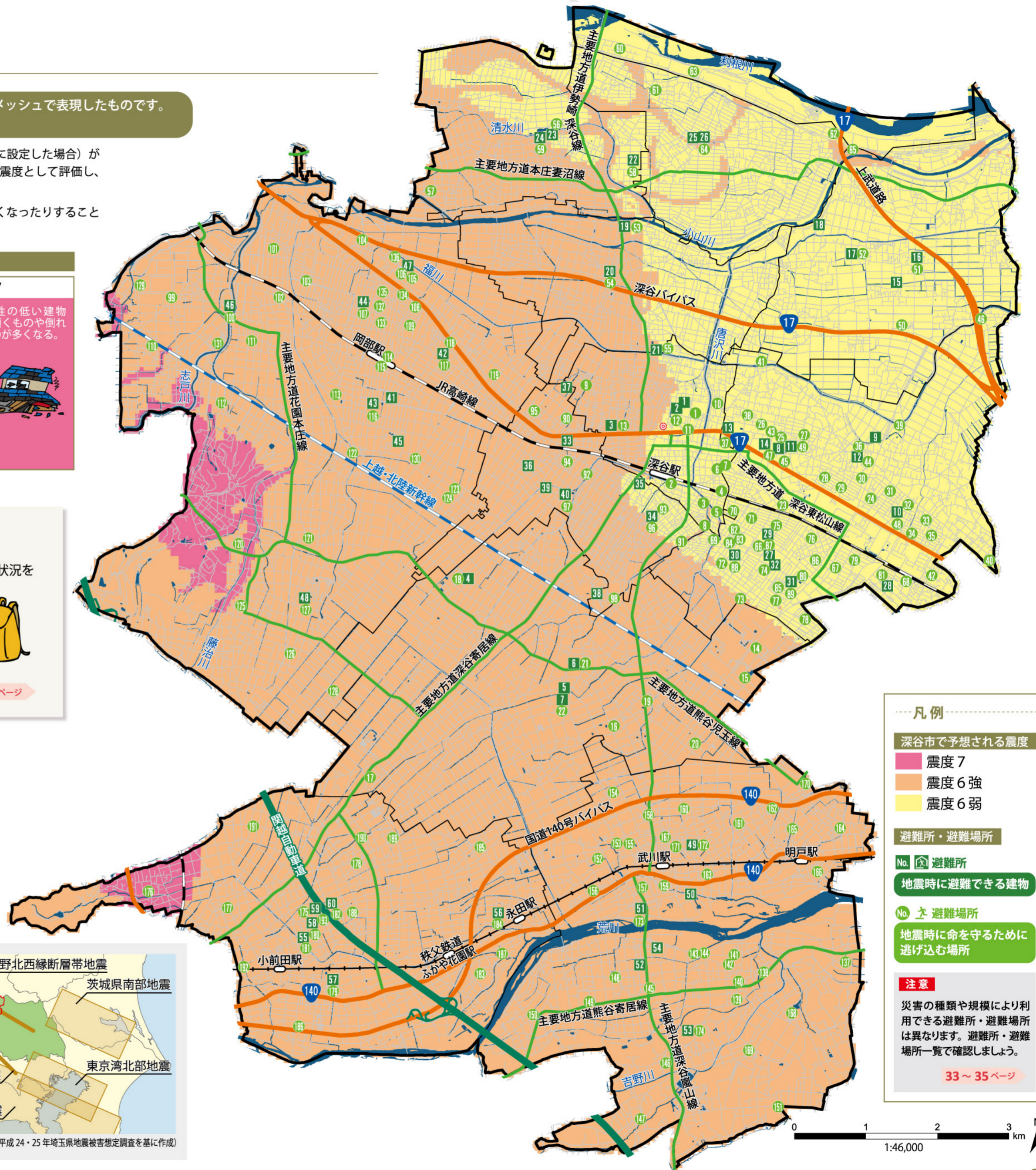
首都直下地震に係る最新の科学的知見や過去の被害地震を踏まえ、次の5つの地震を想定

海溝型地震	東京湾北部地震 [M7.3]	フィリピン海プレート上面の震源深さに関する最新の知見を反映（東京湾北部地震の震源深さは、従来の想定よりも浅くなった。）※今後 30 年以内に南関東地域で M7 級の地震が発生する確率：70%
	茨城県南部地震 [M7.3]	※今後 30 年以内に南関東地域で M7 級の地震が発生する確率：70%
	元禄型関東地震 [M8.2] [相模湾～房総沖]	首都圏に大きな被害をもたらすとされる元禄地震（関東大震災）を想定 ※今後 30 年以内の地震発生確率：ほぼ 0%
活断層型地震	関東平野北西縁断層帯地震 [M8.1]	深谷断層と綾瀬川断層を一体の断層帯として想定 ※今後 30 年以内の地震発生確率：ほぼ 0～0.1%（深谷断層帯）
	立川断層帯地震 [M7.4]	最新の知見に基づく震源条件により検証 ※今後 30 年以内の地震発生確率：2%以下

※：地震調査研究推進本部による長期評価を参照



想定地震の断層位置図（平成 24・25 年埼玉県地震被害想定調査を基に作成）



凡例

- 深谷市で予想される震度
 - 震度 7
 - 震度 6 強
 - 震度 6 弱
- 避難所・避難場所
 - No. 1 避難所
 - No. 2 避難場所
- 地震時に避難できる建物
- 地震時に命を守るために逃げ込む場所

注意

災害の種類や規模により利用できる避難所・避難場所は異なります。避難所・避難場所一覧で確認しましょう。

33～35ページ

